

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	株式会社 共立メンテナンス 代表取締役 中村 幸治				
事業者番号	A	1	0	4	1

2 報告する事業所等の全体の状況(2022年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	14	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,415	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	6,651	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☒ 義務提出事業所等	☐ 全事業所
----------	--	-------------------------------

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
合計二酸化炭素排出量	5,077.00	5,585.00	4,885.00	6,122.00	6,651.00	t
合計延床面積	41,634.17	46,273.79	51,980.99	54,692.15	54,692.15	m ²
合計原単位	121.94310	120.69467	93.97666	111.93562	121.60794	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	-6.98	%
平均合計原単位改善率	0.06	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	0	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	0	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	——	ランク
---------------------	----	-----

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	☐	目標達成した。
------------------	--------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	2022年度は稼働の回復に伴いエネルギー使用量が増加。 棟数、室数、利用者数増加といった環境の下ですが、新規事業所への積極的な高効率機器の導入、既存事業所への必要に応じた設備の改修および入替工事、高効率機器の導入などの対策を継続して取り組む方針です。 また、各事業場での運用面においては、空調設定温度26℃設定の徹底や不要部分のこまめな消灯、お客様チェックアウト後の空調停止といった継続した省エネルギー対策に取り組む方針です。			
組織体制の 整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援
			A107	排出状況の整理・分析・提供
			A108	組織横断的な推進体制の整備

12 特記事項

- ・運営しているホテルの一部の部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。
- ・一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
- ・ドリーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	株式会社 共立メンテナンス 本社ビル									
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	8	6	2	1	区市町村名 東京都千代田区
	町名番地以下	外神田2-18-8								
事業所等の延床面積	3,949.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	0	0	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	167	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	324	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	326	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	82.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()		☐		0.0					
	その他 ()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	111,056.0	9.97	1,107.2	0.4890	54.3	
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	43,684.0	9.28	405.4	0.4890	21.4	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	508,851.0	9.76	4,966.4	0.4890	248.8	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	6,479.0	⑮	324.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,878.0			0.2660	1.0	
	公共下水道		☐	m ³	3,878.0			0.4000	1.6	
合 計									⑯	2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C132	開け放し開口部面積の縮小
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E124	更新に合わせた高効率機器の採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインEXPRESS目黒青葉台											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	3		
事業所等の所在地	〒	1	5	3	—	0	0	4	2	区市町村名	東京都目黒区	
	町名番地以下	青葉台3-21-8										
事業所等の延床面積	1,977.29			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	116	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	225	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	232	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	113.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	20,934.8	45.00	942.1	0.0136	47.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	65,688.0	9.97	654.9	0.4890	32.1
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	46,434.0	9.28	430.9	0.4890	22.7
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	253,521.0	9.76	2,474.4	0.4890	124.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑬ 0.0	0.4890	⑭ 0.0
合 計							⑬ 4,502.2		⑮ 225.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,980.0			0.2660	2.9
	公共下水道		☐	m ³	10,980.0			0.4000	4.4
合 計									⑯ 7.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C417	不使用室の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C418	客室清掃時の空調停止
				C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
	設備保守対策			C424	看板照明点灯時間の季節別管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに応じて提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインEXPRESS浅草											
事業所番号	A	1	0	4	1	-	0	0	0	4		
事業所等の所在地	〒	1	1	1	-	0	0	3	3	区市町村名 東京都台東区		
	町名番地以下	花川戸1-3-4										
事業所等の延床面積	2,036.00			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所				☐ 商業施設(物販)				☐ 商業施設(飲食)			
	☐ 工場				☐ 複合施設				☒ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	131	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	256	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	264	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	125.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	33,315.8	45.00	1,499.2	0.0136	74.8
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	69,736.0	9.97	695.3	0.4890	34.1
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	48,134.0	9.28	446.7	0.4890	23.5
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	253,360.0	9.76	2,472.8	0.4890	123.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑭ 0.0	9.76	⑮ 0.0	0.4890	⑯ 0.0
合 計							⑮ 5,114.0		⑯ 256.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	13,066.0			0.2660	3.5
	公共下水道		☐	m ³	13,066.0			0.4000	5.2
合 計									⑯ 8.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C417	不使用室の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C418	客室清掃時の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E133	節水器具の採用
				E135	エレベータのインバータ制御
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに応じて提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーイン東京八丁堀											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	5		
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	3	3	区市町村名 東京都中央区		
	町名番地以下	新川2-20-4										
事業所等の延床面積	3,530.36			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	275	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	536	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	23	t
	総計(④=②+③)	④	559	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	151.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	88,869.4	45.00	3,999.1	0.0136	199.4
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	389,918.0	9.97	3,887.5	0.4890	190.7
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	299,132.0	9.28	2,775.9	0.4890	146.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}				kWh	⑪	0.0	0.4890	⑬
合 計						⑫ 10,662.6		⑭ 536.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	21,622.0			0.2660	5.8
	公共下水道	☐	m ³	44,317.0			0.4000	17.7
合 計								⑮ 23.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C127	看板照明点灯時間の季節別管理
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C417	不使用室の空調停止
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C418	客室清掃時の空調停止
				C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
	設備保守対策			C424	看板照明点灯時間の季節別管理
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに応じて提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーイン秋葉原											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	6		
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	2	1	区市町村名	東京都千代田区	
	町名番地以下	外神田4-12-5										
事業所等の延床面積	2,313.18			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	224	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	436	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	12	t
	総計(④=②+③)	④	448	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	188.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	63,709.3	45.00	2,866.9	0.0136	143.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	342,191.0	9.97	3,411.6	0.4890	167.3
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	259,024.0	9.28	2,403.7	0.4890	126.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬
合 計						⑭	8,682.3	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	19,199.0			0.2660	5.1
	公共下水道	☐	m ³	19,199.0			0.4000	7.7
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況



目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	リフレフォーラム											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	7		
事業所等の所在地	〒	1	3	6	—	0	0	7	2	区市町村名 東京都江東区		
	町名番地以下	大島7-37-11										
事業所等の延床面積	4,570.92			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	9	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	132	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	257	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	265	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	56.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	31,944.1	45.00	1,437.5	0.0136	71.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気							
	昼間(8時～22時)	☐	kWh	218,428.0	9.97	2,177.7	0.4890	106.8
	夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	161,934.0	9.28	1,502.7	0.4890	79.2
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 5,118.0		⑭ 257.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,021.0			0.2660	3.2
	公共下水道	☐	m ³	12,021.0			0.4000	4.8
合 計								⑮ 8.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C123	温湿度の適正管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C409	季節に応じた温度設定の見直し		
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインPREMIUM渋谷神宮前											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	8		
事業所等の所在地	〒	1	5	0	—	0	0	0	1	区市町村名 東京都渋谷区		
	町名番地以下	神宮前6-24-4										
事業所等の延床面積	4,281.65			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	248	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	485	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	16	t
	総計(④=②+③)	④	501	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	113.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	57,205.7	45.00	2,574.3	0.0136	128.4
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	415,117.0	9.97	4,138.7	0.4890	203.0
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	314,741.0	9.28	2,920.8	0.4890	153.9
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬
合 計						⑭	9,633.8	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	24,458.0			0.2660	6.5
	公共下水道	☐	m ³	24,458.0			0.4000	9.8
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ菌ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーイン上野・御徒町											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	0	9		
事業所等の所在地	〒	1	1	0	—	0	0	0	5	区市町村名 東京都台東区		
	町名番地以下	上野6-7-22										
事業所等の延床面積	2,568.62			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	220	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	430	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	15	t
	総計(④=②+③)	④	445	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	167.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	66,639.2	45.00	2,998.8	0.0136	149.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	328,120.0	9.97	3,271.4	0.4890	160.5
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	246,791.0	9.28	2,290.2	0.4890	120.7
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.4890	⑬
合 計						⑭ 8,560.3		⑮ 430.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	23,857.0			0.2660	6.3
	公共下水道	☐	m ³	23,857.0			0.4000	9.5
合 計								⑯ 15.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに応じて提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインPREMIUM東京小伝馬町											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	1		
事業所等の所在地	〒	1	0	3	—	0	0	0	1	区市町村名	東京都中央区	
	町名番地下	日本橋小伝馬町2-3										
事業所等の延床面積	4,061.47			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	259	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	504	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	17	t
	総計(④=②+③)	④	521	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	124.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

3 二酸化炭素排出量等の算出

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量	
								排出 係数	排出量 ^{※1} (t)
					⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	⑨	⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	66,385.0	45.00	2,987.3	0.0136	149.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	125,823.0	9.97	1,254.5	0.4890	61.5
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	87,079.0	9.28	808.1	0.4890	42.6
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	514,769.0	9.76	5,024.1	0.4890	251.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 10,074.0		⑮ 504.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	25,644.0			0.2660	6.8
	公共下水道		☐	m ³	25,644.0			0.4000	10.3
合 計									⑯ 17.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインPREMIUM神田										
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	2	
事業所等の所在地	〒	1	0	1	—	0	0	4	1	区市町村名	東京都千代田区
	町名番地以下	神田須田町1-16									
事業所等の延床面積	4,173.98		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	324	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	632	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	19	t
	総計(④=②+③)	④	651	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	151.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	76,286.5	45.00	3,432.9	0.0136	171.2
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	548,768.0	9.97	5,471.2	0.4890	268.3
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	394,884.0	9.28	3,664.5	0.4890	193.1
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	⑬
合 計						⑭ 12,568.6		⑮ 632.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	29,083.0			0.2660	7.7
	公共下水道	☐	m ³	29,083.0			0.4000	11.6
合 計								⑯ 19.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩}=(\text{⑥}/1,000)\times\text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ菌ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーイン後樂園											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	4		
事業所等の所在地	〒	1	1	3	—	0	0	3	3	区市町村名 東京都文京区		
	町名番地以下	本郷4-23-14										
事業所等の延床面積	5,926.75				m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☐ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☒ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	396	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	770	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	18	t
総計(④=②+③)	④	788	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	129.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	81,124.6	45.00	3,650.6	0.0136	182.0
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) 夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh ☐ kWh	0.0 0.0	9.97 9.28	0.0 0.0	0.4890 0.4890
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	1,202,398.2	9.76	11,735.4	0.4890	588.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計					⑬ 15,386.0		⑭ 770.0
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	28,242.0			0.2660	7.5
	公共下水道	☐ m ³	28,242.0			0.4000	11.3
合 計							⑮ 18.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ菌ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御宿野乃 浅草											
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	5		
事業所等の所在地	〒	1	1	1	—	0	0	3	2	区市町村名 東京都台東区		
	町名番地以下	浅草2-7-20										
事業所等の延床面積	4,639.62			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)											
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	383	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	744	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	31	t
	総計(④=②+③)	④	775	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	160.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	131,691.2	45.00	5,926.1	0.0136	295.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	108,787.0	9.97	1,084.6	0.4890	53.2
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	77,305.0	9.28	717.4	0.4890	37.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	732,996.0	9.76	7,154.0	0.4890	358.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 14,882.1		⑭ 744.9
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	39,084.0			0.2660	10.4
	公共下水道	☐	m ³	53,981.0			0.4000	21.6
合 計								⑮ 32.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C417	不使用室の空調停止
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ菌ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーイン池袋									
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	6
事業所等の所在地	〒	1	7	0	—	0	0	1	3	区市町村名 東京都豊島区
	町名番地以下	東池袋3-11-11								
事業所等の延床面積	5,707.20		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	382	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	745	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	25	t
	総計(④=②+③)	④	770	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	130.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	114,747.7	45.00	5,163.6	0.0136	257.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	585,333.0	9.97	5,835.8	0.4890	286.2
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	412,726.0	9.28	3,830.1	0.4890	201.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬ 14,829.5		⑭ 745.5
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	37,422.0			0.2660	10.0
	公共下水道	☐	m ³	38,064.0			0.4000	15.2
合 計								⑮ 25.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑥} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 $\text{⑪} = (\text{都が指定する原単位} \times \text{延床面積} \times \text{事業所等の総稼働時間}) / 1,000$

$\text{⑫} = (\text{⑪} / \text{電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)} \text{の係数}) \times 1,000$ $\text{⑬} = (\text{⑫} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C417	不使用室の空調停止
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

ホテルの部屋のアメニティにおいては、国が定めるプラスチック資源循環促進法に従い、指定された特定プラスチック使用製品（歯ブラシ・ヘアブラシ・クシ・カミソリ・シャワーキャップ）を全部屋設置からフロントでの専用ブースにて、お客様の求めに対して提供する方法に変更し、プラスチックの使用量及びゴミの排出量の抑制を図っている。

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。

ドリーミンシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ドーマーインPREMIUM銀座									
事業所番号	A	1	0	4	1	—	0	0	1	7
事業所等の所在地	〒	1	0	4	—	0	0	6	1	区市町村名 東京都中央区
	町名番地以下	銀座6丁目16番8号								
事業所等の延床面積	4,956.11		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	7	5	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点	2022年1月から療養者受入施設として運営。2023年3月グランドオープン。									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	158	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	307	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
総計(④=②+③)	④	311	t
二酸化炭素排出原単位(燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積))	⑤	61.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	20,970.6	45.00	943.7	0.0136	47.1
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時) 夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh ☐ kWh	9.97 9.28	0.0 0.0	0.4890 0.4890	0.0 0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	533,381.0	9.76	5,205.8	0.4890	260.8
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}	kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計					⑭ 6,149.5		⑮ 307.9
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	6,817.0			0.2660	1.8
	公共下水道	☐ m ³	6,880.0			0.4000	2.8
合 計							⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		C402	利用状況に応じた空調の設定変更	C417	不使用室の空調停止
		C404	加熱時間表示等による無駄の抑制	C418	客室清掃時の空調停止
		C409	季節に応じた温度設定の見直し	C420	客室・共用部外調機の温度設定
		C413	水道メータ等で漏水の有無の点検	C422	営業開始に合わせた加熱器具使用
				C424	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E133	節水器具の採用
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

一部では、お部屋置きするアメニティ類をバイオマスを含む製品へ変更し、包材も含めて約30%のプラスチック使用量及びゴミの排出量を削減するよう取り組んでいる。
ドリーミーインシリーズにおける運営の取り組みとして、宿泊客の連泊時の清掃を申出制にする、マイ歯ブラシ・マイカミソリの推進、節電への協力依頼などの『weco』活動を実施している。